

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年2月15日

配布数 5

回収数 5

事業所名 アートチャイルドケアSEDスクール京都西院

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	割合（％）				工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
						はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	・相談室も療育スペースとして利用し、3人になった際もスペースを確保している。 ・当日の人数などの環境を活かして、個々のねらいを達成できるよう内容検討、打ち合わせをしている。 ・2人枠から3人枠に変更になっているが工夫しながら行っている。 ・場所や使う物などの事前打ち合わせを行なっている。 ・個別療育で大人3人子ども3人が入室していると声、音、動きなどの刺激で落ち着いて活動しにくく安心安全への改善が必要。	・他児の活動内容を事前に把握し、声の大きさの調整や、音の鳴るおもちゃはテープなどで音量を調整するようにし、現在は改善されてきている。 ・子どもの動線や遊具・ボールなどが動く範囲など、他児の活動と重ならないよう配慮していく。
	2 職員の配置数は適切であるか	0	4	1	0	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	・利用者が増えているが、職員が少なく、今後の事を考えると増やす必要がある。 ・少ない人数でもスムーズに職務遂行出来るよう配慮されているが、指導員が固定化しやすい。 ・利用人数に対する職員数がまだ足りない。 ・常にぎりぎり新規のお子様も増え、適切とは言えない。 ・入職してから退職するまでの期間が短い、プロ意識や技術の向上の為に、より相談しやすい雰囲気づくりをしたい。	・新たに入職した職員がそれぞれの良さを発揮しながら定着するようになってきたが、新たな通所希望や療育の追加希望に応じていくため、求められる療育の質に応えられる人材を選定しつつ、長期的な育成を続け、安定的な療育提供につなげていく。 ・チームでより質の高い療育を提供していくことにやりがいを感じられるよう、今いる職員も、次に入職する職員のために、相談しやすい雰囲気づくりをしていく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・視覚的に気が散りにくく、わかりやすくなっている。 ・ホールを中心に観察室、トイレ、指導室、事務室などが配置されわかりやすい。 ・身支度、トイレなど迷うことなく出来ている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	1	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	・子どもの活動に合わせてセッションごとに環境を変えている。 ・子どもの発達年齢や（心身とも）、活動のねらいに合った遊具の配置を他指導員と相談しながら行っている。 ・毎日のそうじとセッション後の片付けで行えている。 ・机上活動で集中したい時に運動遊び等で大きな動きや声が出ていて、子どもの声が届きにくかったり、不安を感じる子供もいるので、個室や相談室を活用している。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	1	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	・毎日のデイリーカンファレンスやセッション前後の打ち合わせで行なっている。 ・業務改善に関する発言やカンファレンスをする時間が毎日設けられている。 ・職員間でも共有しながら行っている。 ・毎日デイリーカンファレンスを行ない、全員で考えている。	・カンファレンスの際だけではなく、普段の会話の中で出てきた小さなやりづらさや問題点なども、その場で改善につなげていく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	・振り返り時、成長確認シート提出時に指導員から支援計画お渡し時にスクール長から聞いている。 ・評価内容を指導員が把握した上で支援できるようスクール長から声をかけてもらっている。 ・保護者様の意見を真摯に受け止め努めている。 ・保護者の意向を全員で共有し改善している。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	2	0	0	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	・スクールのホール、HPで公開している。 ・HPで評価表が見つげにくく、R3年度分以外わからなかった。 ・ホールの掲示板上に掲示している。	・保護者向け評価表はスクール内の掲示場所を工夫して見ても見やすくし、またHPに掲示された際には、どこから閲覧できるかも含めコドモンで案内していく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	・外部研修を利用し、他職員にも共有してもらっている。 ・研修の紹介をしてもらい、自主研修できるよう努力しているが、業務時間中に研修の機会を確保するのは難しい。 ・研修の共有をしている。 ・してもらっているが、参加する余裕が少ない。 ・事業所内の研修の他にも外部の研修を案内していただき、身につけたいスキルを向上する機会が多くある。	・職員数を増やし、勤務時間内にも研修に参加できるようにし、ワークライフバランスを取りながら学び働けるよう環境を整えていく。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・職員の見立て、子どもや保護者のニーズを総合的にカンファレンスで話し合うようにしている。 ・複数人で多角的に子どもの現状やとりまく環境を見て、みんなで分析して作成している。 ・アセスメントシートを使いながら行っている。 ・一人の見立てだけでなく、チームで意見交換することで多方面から見守ることができ、より今の発達段階にあった計画を作成出来ている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・半年ごとにアセスメントシートを使用している。 ・発達段階やアセスメントシートを使用している。 ・心理検査の結果をご提出いただき、参考にしている。	
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・目標、具体的支援とともにその子に合った内容を設定できている。 ・これまでの支援内容と子どもの現状を見て話し合い、当該児により合う内容をみんなで考え設定している。	
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	1	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	・個別支援計画に沿って、毎月の目標を立て、それに沿って日々の療育のねらいを設定している。 ・プログラム立案時に支援計画の内容を毎回確認している。 ・個別支援計画の支援内容に加え、一か月毎に支援内容を考え、全員で共有できるようにして方向性を統一している。	・個別支援計画に沿って支援を行っているが、お子さんの状況が変わった時などは柔軟に対応していく。
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	・担当以外の職員それぞれの見立てを聞くようにしている。 ・担当指導員や前担当した指導員の記録やアドバイスを参考に立案している。 ・共有している。 ・職員によってはできていない。 ・各々の得意を活かしたプログラムを提供している。	・チームでのプログラム立案については、積極的に声をかけ合い、現在は改善されている。 ・互いの療育の考え方を共有し、より良いチームでの療育にしていけるため、職員数を増やし、それぞれの療育を見る時間を確保できるようにしていく。
14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	2	0	0	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	・特別に環境や活動の変化で不安が大きくなる子以外は工夫している。 ・変えるようにしているが、安心感のため同じものを用意することもある。 ・様々な活動を取り入れているが、難しいこともある。 ・運動あそび、机上活動など様々なプログラムを提供している。	・安心感のために同じプログラムを続ける際は、ねらいと期間を保護者に分かりやすく伝えていく。 ・指導員としてはスムーズステップでプログラムに変化をもたせていても、保護者や子どもにとって同じように見えている時もあると思われる。どのようなねらいで、前回のプログラムとどのように変えたのか説明したり、子どもにもどことが新しく、その日はどこを頑張ったのか具体的に伝えていく。	
15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・集団療育は保護者の希望だけでなく子供の状況をみて組み合わせている。 ・個別の一部を共同プログラム（2～3人の小集団）での活動など段階的に集団活動に入れるようにする。		

	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・開始前に限らず打ち合わせを行い、自由遊びについても役割分担などを話し合っている。 ・打ち合わせの時間を設定し（3人枠の時）、内容の共有を行っている。 ・グループや個別の時、誰がどのように動くか確認し、それぞれが動きやすいよう工夫している。 ・職員によってはできていない。 ・空間の使い方、安全管理など、打ち合わせしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援開始前の打ち合わせについては、積極的に声をかけ合い、現在は改善されている。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・解決が難しそうなどは、その日のうちに検討、ヒヤリハットも共有している。 ・子どもについてわかったことや新たな課題、今後必要な具体的支援について相談している。 ・デイリーカンファレンスで話している。 ・ヒヤリハット、共通事項、検討事項等を毎日共有している。 	
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・特に新規のお子様は詳しく記録に取るようにし、支援の改善や方向性の決定に繋げている。 ・項目に分けて記録している。 ・気をつけているが、記録が何週間も溜まっている職員もいる。 ・セッションごとに記録している。セッション前に必ず記録を確認し、プログラムを立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は記録は次の療育までに記入し、検証・改善につなげられており、改善されている。週2回来所されるお子さんについては、口頭で伝達している。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・成長確認シート受け取り時に口頭でも保護者に意図の確認などを行っている。 ・複数の指導員でカンファレンスをしている。 ・成長確認シートに記入していただく他、日々の振り返りでも支援計画に沿ったお話をしている。 	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2	0	0	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児がいれば参加しようと考えている。電話でのモニタリングに対応している。 ・スクール長が参加している。 ・積極的に参加し、包括的なサポートを目指したい。 	
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	2	0	0	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ機会がないが、必要に応じ連携しようと考えている。 ・様々な機関との連携は保護者支援につながると思う。 ・様々な家庭環境にサポートできるよう積極的に連携したい。 	
	22	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・園連携はSEDスクール職員の園訪問、園の先生のSEDスクール見学、電話等で行なっている。 ・対象児がいなくても園から要望があれば行った方がいいと思う。 ・電話、訪問、見学等で行なっている。 ・集団生活で子供たちが少しでも自分らしく過ごせるよう連携をし、療育のできることを考えたい。 	
	23	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・移行支援シートを必要に応じ保護者に勤めている。 ・対象児がいる時は、学校からの要望があれば行っている。対象児がいなくても学校からの要望、職員の研修のためには行った方がいいと思う。 ・就学支援シートを用い行なっている。 ・小学校に入ると療育に通わなくなることが多いため、入学後子供たちが安心して過ごせるよう繋いでいきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の小学校との連携や見学などを行い、移行支援の充実を図っていく。
	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な職員が受けられるよう調整している。 ・他の事業所との連携についてはわかりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所を並行利用されている方には、それぞれの事業所でのねらいや役割などを相談する必要がある時には連携していく。
	25	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	3	0	0	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・主にスクール長が参加、職員へ共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の会議への参加は、指導員にも案内し、希望があれば参加できるようにしていく。
保護者への説明責任等	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り時にセッションで見られた姿を通して話しあいをしている。 ・その日の子どもの様子についての保護者の思いや考えを聞き取り、活動のねらいが共有できるよう努力している。 ・毎回の振り返りで行なっている。 	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・入所説明の際、説明後に疑問点などをお聞きし、不明な点が残らないようにしている。 	
	28	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の思いを再度お聞きしながら説明し同意を得ている。 	
	29	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り時に指導員からも悩み等がないかお聞きし話しやすくしている。 ・子どもの様子から、出来ていることと、その前後の様子や保護者のかかわりにフォーカスして話す。 ・毎回の振り返りに加え、別枠で話すことが出来る機会を必要に応じて確保し、保護者支援も大切にしている。 	
	30	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	2	0	0	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り時や必要に応じ事業所内相談支援を行なっている。 ・相談や申入れがあったときの基本の対応について、スクール長に報告後はどのような流れかはわからない。 ・事実確認が不足しているのではと感じることがある。 	
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・コドモンを主に利用し、家でも見てもらえるようにしている。 ・観察室内や掲示板で行なっている。 ・コドモンにて発信したり、掲示をしたりしている。 ・子どもへの発信は難しい。 ・スクール内の掲示やコドモンアプリにて配信している。 	
	32	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・名前の確認、書類保管場所を決めることを徹底している。 ・席を立つときはPCを閉めている。 ・徹底できている。 ・スマートフォンや、書類の複製など厳重に取り扱っている。 	
非常時等の対応	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に合わせわかりやすい支援計画を作成したり、お子様には絵カードでの伝達なども行なっている。 ・複雑な内容は口頭＋書面で伝達している。 	
	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	1	0	0	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への周知はできていない。 ・計画中である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を行った際の掲示やコドモン配信に、マニュアルが策定されていることや、普段の非常時等への対応なども記載し伝えていく。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さま、保護者にも参加してもらっている。 	
	36	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4	0	0	1	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮が必要なお子さまについては把握している。 ・特に配慮が必要な重要事項は実績表や月目標のファイルに表示している。 	
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の口頭での共有も行なっている。 ・支援中のヒヤリハットは職員で共有、保護者への事例集についてはわからない。 ・充分できている。 	
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・新規職員は入職後すぐ研修をしている。 ・月一回虐待チェックシートの確認をしている。 	